

野村北米REIT投信(ブラジルリアルコース) 毎月分配型

追加型投信／海外／不動産投信

交付運用報告書

第59期(決算日2014年10月15日)

第60期(決算日2014年11月17日)

第61期(決算日2014年12月15日)

第62期(決算日2015年1月15日)

第63期(決算日2015年2月16日)

第64期(決算日2015年3月16日)

作成対象期間(2014年9月17日～2015年3月16日)

第64期末(2015年3月16日)	
基準価額	8,628円
純資産総額	12,968百万円
第59期～第64期	
騰落率	△ 3.2%
分配金(税込み)合計	720円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供することができる旨を定めております。運用報告書(全体版)は、野村アセットマネジメントのホームページで閲覧・ダウンロードしていただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記ホームページを開く

⇒「ファンド検索」にファンド名を入力しファンドを選択

⇒ファンド詳細ページから「運用報告書(全体版)」を選択

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、ノムラ・ファンド・シリーズーノース・アメリカン・リート・ファンドークラスBRL受益証券および野村マネーマーケットマザーファンド受益証券への投資を通じて、主として米国およびカナダの金融商品取引所に上場されているREIT(不動産投資信託証券)に実質的に投資を行い、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。

ここに、当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。

なお、当ファンドは、2014年6月6日に信託期間を延長する約款変更を行い、信託期間終了日は2024年9月17日となりましたので、ご留意下さい。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104

〈受付時間〉営業日の午前9時～午後5時

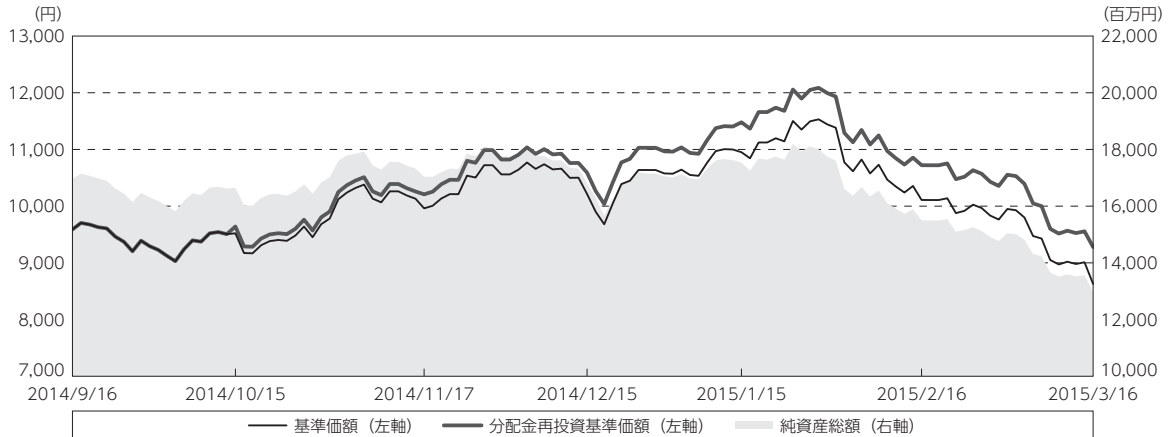


ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2014年9月17日～2015年3月16日)



第59期首：9,589円

第64期末：8,628円 (既払分配金(税込み):720円)

騰落率：△ 3.2% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2014年9月16日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

実質的に投資している北米REITからのインカムゲイン(配当収入)

実質的に投資している北米REITからのキャピタルゲイン(またはロス)(価格変動損益)

為替取引によるコスト(金利差相当分の費用)またはプレミアム(金利差相当分の収益)

円/ブラジルレアルの為替変動

1万口当たりの費用明細

(2014年9月17日～2015年3月16日)

項 目	第59期～第64期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	円 49	% 0.471	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(a) 信託報酬 (投信会社)	(19)	(0.187)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(a) 信託報酬 (販売会社)	(28)	(0.268)	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(a) 信託報酬 (受託会社)	(2)	(0.016)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) その他費用	0	0.002	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(b) その他費用 (監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	49	0.473	
作成期間の平均基準価額は、10,309円です。			

(注) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2010年3月15日～2015年3月16日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。2010年3月15日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

	2010年3月15日 決算日	2011年3月15日 決算日	2012年3月15日 決算日	2013年3月15日 決算日	2014年3月17日 決算日	2015年3月16日 決算日
基準価額 (円)	10,680	11,009	10,304	10,866	8,739	8,628
期間分配金合計(税込み) (円)	—	1,410	1,440	1,440	1,440	1,440
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	17.5	7.9	23.2	△ 6.1	14.3
純資産総額 (百万円)	248,169	46,299	22,534	23,923	16,454	12,968

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

(注) 当ファンドは、主として外国籍ファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

投資環境

(2014年9月17日～2015年3月16日)

当作成期首から1月中旬にかけての北米REIT市場は、特に米国にて、良好な経済指標が発表される一方で、金融当局が利上げに向けて慎重な姿勢で臨む姿勢を示し、利上げに対する警戒感が緩和したこと、原油相場の下落が可処分所得の増加やインフレの抑制を通じて国内経済に恩恵を与えるとの見方が広がったことなどから、概ね上昇基調で推移しました。

その後、当作成期末にかけては、力強い米経済指標の発表を受けて、金融当局が利上げに動くとの警戒感が広がったことなどから、調整しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2014年9月17日～2015年3月16日)

[野村北米REIT投信(ブラジルリアルコース)毎月分配型]

[ノムラ・ファンド・シリーズ・ノース・アメリカン・リート・ファンドー クラスBRL] および [野村マネーマーケット マザーファンド] の受益証券を主要投資対象とし、投資の中心とする [ノムラ・ファンド・シリーズ・ノース・アメリカン・リート・ファンドー クラスBRL] の受益証券への投資比率を概ね95%以上に維持しました。

[ノムラ・ファンド・シリーズ・ノース・アメリカン・リート・ファンドー クラスBRL]**・北米REIT組入比率**

北米REIT組入比率は、当作成期を通じて90%程度を維持し、当作成期末時点で、90.9%としました。

・当作成期中の主な動き

- (1) REITへの投資にあたっては、価格水準が相対的に割安で、長期的に高い収益成長が期待できる銘柄を選別し投資しました。
- (2) セクター別では、リテール、賃貸住宅、オフィスビルなどを中心に投資しました。
- (3) 銘柄別では、SIMON PROPERTY GROUP INC REIT、AVALONBAY COMMUNITIES INC REIT、EQUITY RESIDENTIAL REITなどに重点投資しました。

[野村マネーマーケット マザーファンド]

残存期間の短い公社債への投資により安定した収益の確保を図り、あわせて債券現先取引やコール・ローンなどで運用を行なうことで流動性の確保を図りました。

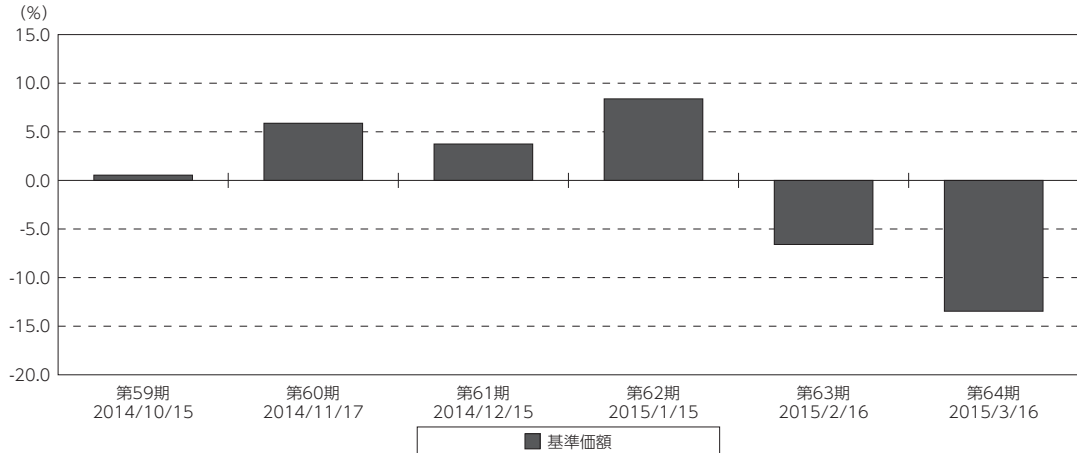
当ファンドのベンチマークとの差異

(2014年9月17日～2015年3月16日)

当ファンドは、主として外国籍ファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、作成期間中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。

基準価額（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

分配金

(2014年9月17日～2015年3月16日)

収益分配金については、各期毎の利子・配当等収入、信託報酬などの諸経費を勘案して分配を行ないました。

留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税込み)

項目	第59期	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期
	2014年9月17日～ 2014年10月15日	2014年10月16日～ 2014年11月17日	2014年11月18日～ 2014年12月15日	2014年12月16日～ 2015年1月15日	2015年1月16日～ 2015年2月16日	2015年2月17日～ 2015年3月16日
当期分配金	120	120	120	120	120	120
(対基準価額比率)	1.245%	1.190%	1.161%	1.084%	1.173%	1.372%
当期の収益	120	120	120	120	120	120
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	4,651	4,679	4,706	4,736	4,758	4,782

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

[野村北米REIT投信(ブラジルリアルコース)毎月分配型]

[ノムラ・ファンド・シリーズ・ノース・アメリカン・リート・ファンドー クラスBRL] 受益証券および[野村マネーマーケット マザーファンド] 受益証券を主要投資対象とし、投資の中心とする[ノムラ・ファンド・シリーズ・ノース・アメリカン・リート・ファンドー クラスBRL] 受益証券への投資比率を概ね95%以上に維持します。

[ノムラ・ファンド・シリーズ・ノース・アメリカン・リート・ファンドー クラスBRL]

米国経済は2014年第4四半期の米国GDP(国内総生産)成長率(改定値、対前期比)が年率+2.2%となり、緩やかな成長が継続しています。また、2015年2月の非農業部門雇用者数は前月比29万5,000人増となり米国の雇用市場も順調に回復しています。企業収益や労働市場の改善などを背景に、米国経済は今後も回復を続けると予想されます。また、カナダ経済は、2014年第4四半期のGDP成長率が年率+2.4%となり、米国経済と同様に成長が継続しています。

不動産市場では、賃貸住宅で力強い賃料成長が続いているほか、商業施設では、特に集客力の高いショッピングモールで需要の回復がみられます。また、産業用施設やオフィスビルセクターでも、空室率は低下基調です。引き続き多くの物件タイプでの新規供給は低い水準に抑えられていることから、経済の回復に伴い空室率が更に低下すると期待されます。

REIT市場については、不動産市場の回復を背景にREITの収益が成長しており、収益成長を受けて配当額を増額する銘柄も数多くみられます。また、実物不動産市場における取引量も増加基調となっており、積極的に物件を取得し、外部成長機会を求めている銘柄もあります。REITの収益成長に伴い、北米REIT市場は今後も上昇していくと期待されます。

当ファンドでは、今後も引き続き、長期的に高い収益成長が見込めながらも、証券市場で割安に価格付けされている銘柄を見出し、投資していく予定です。銘柄選択にあたっては、REITが保有する不動産の評価額を基準に、人口動態や保有物件の地域分析なども考慮しつつ、強い財務基盤を持ち、キャッシュフロー(現金収支)の伸びが期待でき、質の高い経営陣を擁するREITを選別していきます。

また、外国為替予約取引、為替先渡取引、直物為替先渡取引等を活用し、米ドル及びカナダドル建て資産について原則として米ドルを売り、ブラジルリアルを買う為替取引を行います。

[野村マネーマーケット マザーファンド]

残高動向に応じて残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資により利息等収益の確保を図り、あわせて債券現先取引やコール・ローンなどで運用を行なうことで流動性の確保を図る運用を行なう方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願いいたします。

お知らせ

- ①運用報告書(全体版)について電磁的方法により提供する所要の約款変更を行いました。
<変更適用日:2014年12月1日>
- ②書面決議の要件緩和等に関する所要の約款変更を行いました。
<変更適用日:2014年12月1日>
- ③書面決議に反対した受益者が受託者に対して行う受益権の買取請求を不適用とする所要の約款変更を行いました。
<変更適用日:2014年12月1日>

当ファンドの概要

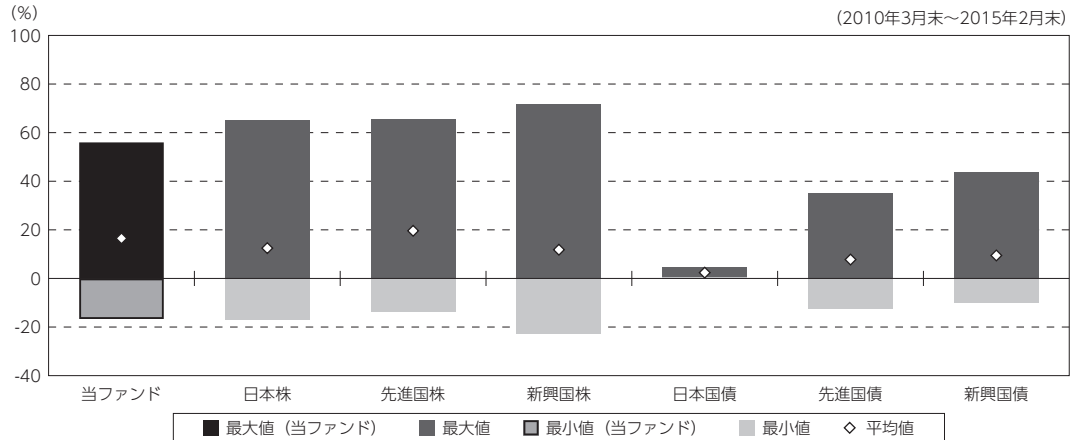
商品分類	追加型投信/海外/不動産投信	
信託期間	2009年10月21日から2024年9月17日までです。	
運用方針	主として、円建ての外国投資信託であるノムラ・ファンド・シリーズ・ノース・アメリカン・リート・ファンドー クラスBRL受益証券および円建ての国内籍の投資信託である野村マネーマーケット マザーファンド受益証券への投資を通じて、米国およびカナダの金融商品取引所に上場されているREIT(不動産投資信託証券)を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。各受益証券への投資比率は、通常の場合においては、ノムラ・ファンド・シリーズ・ノース・アメリカン・リート・ファンドー クラスBRL受益証券への投資を中心としますが、特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびに当ファンドの資金動向等を勘案のうえ決定することを基本とします。	
主要投資対象	野村北米REIT投信(ブラジルリアルコース)毎月分配型	ノムラ・ファンド・シリーズ・ノース・アメリカン・リート・ファンドー クラスBRL受益証券および野村マネーマーケット マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、コマーシャル・ペーパー等の短期有価証券ならびに短期金融商品等に直接投資する場合があります。
	ノムラ・ファンド・シリーズ・ノース・アメリカン・リート・ファンドー クラスBRL	米国およびカナダの金融商品取引所に上場されているREITを主要投資対象とします。
	野村マネーマーケットマザーファンド	本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とします。
運用方法	ノムラ・ファンド・シリーズ・ノース・アメリカン・リート・ファンドー クラスBRL受益証券および野村マネーマーケット マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として米国およびカナダの金融商品取引所に上場されているREIT(不動産投資信託証券)に実質的に投資を行い、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。	
分配方針	毎決算時に、原則として、配当等収益等を中心に安定分配を行うことを基本とします。ただし、基準価額水準等によっては、売買益等が中心となる場合や安定分配とならない場合があります。なお、毎年3月および9月の決算時には、安定分配相当額に委託者が決定する額を付加して分配する場合があります。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。 「原則として、配当等収益等を中心に安定分配を行う」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。	

※店頭デリバティブ取引に関する国際的な規制強化の動きについて

店頭デリバティブ取引に関して、将来、国際的に規制の強化等が予定されています。ファンドが投資対象とする外国投資信託が原則として活用する店頭デリバティブ取引(オプション、NDFおよびNDO等を含みます。)が当該規制強化等の対象取引となり、かつ、当該取引を行なうための担保として現金等を提供する必要がある場合、当該現金等を資産の一部として追加的に保有することとなります。その場合、ファンドの実質的な主要投資対象の組入比率が下がり、高位に組入れた場合に期待される投資効果が得られないことが想定されます。また、その結果として、実質的な主要投資対象を高位に組入れた場合と比べてファンドのパフォーマンスが悪化する場合があります。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	56.0	65.0	65.7	71.8	4.5	34.9	43.7
最小値	△ 16.7	△ 17.0	△ 13.6	△ 22.8	0.4	△ 12.7	△ 10.1
平均値	16.5	12.5	19.6	11.8	2.4	7.8	9.4

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2010年3月から2015年2月の5年間(当ファンドは2010年10月から2015年2月)の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《代表的な資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI-KOKUSAI 指数 (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：シティ世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)

※各指数についての説明は、P12の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

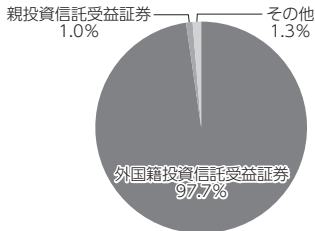
組入資産の内容

(2015年3月16日現在)

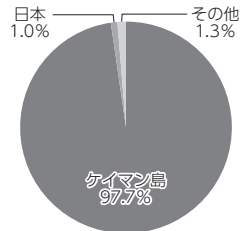
○組入ファンド

銘柄名	第64期末
	%
ノムラ・ファンド・シリーズ・ノース・アメリカン・リート・ファンドー クラスBRL	97.7
野村マネーマーケット マザーファンド	1.0
組入銘柄数	2銘柄

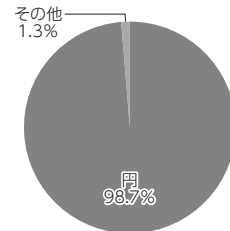
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注) 国別配分は、発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等は、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

項目	第59期末	第60期末	第61期末	第62期末	第63期末	第64期末
	2014年10月15日	2014年11月17日	2014年12月15日	2015年1月15日	2015年2月16日	2015年3月16日
純資産総額	16,645,879,258円	17,038,348,051円	16,818,779,961円	17,542,227,172円	15,503,368,377円	12,968,374,288円
受益権総口数	17,482,741,835口	17,104,205,600口	16,466,550,141口	16,019,311,137口	15,336,943,459口	15,030,058,371口
1万口当たり基準価額	9,521円	9,961円	10,214円	10,951円	10,109円	8,628円

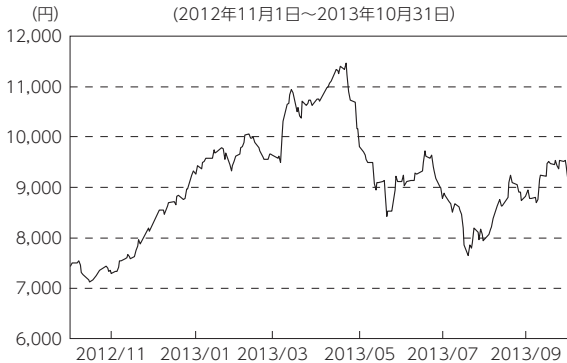
(注) 当作成期間中(第59期～第64期)における追加設定元本額は761,751,378円、同解約元本額は3,421,580,665円です。

組入ファンドの概要

ノムラ・ファンド・シリーズ・ノース・アメリカン・リート・ファンド クラスBRL

作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書をもとに作成いたしております。
運用経過等に関する詳細な内容につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

【純資産価格の推移】



(注) 分配金を分配時に再投資したものと計算しております。

【1口当たりの費用明細】

(2012年11月1日～2013年10月31日)

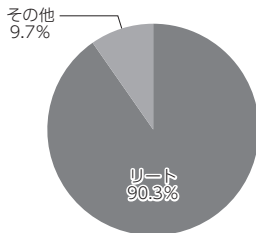
当該期間の1口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

【組入上位10銘柄】

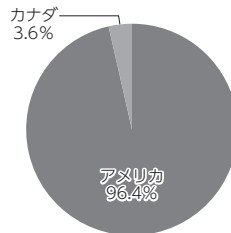
(2013年10月31日現在)

	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	Simon Property Group Inc	リート	米ドル	アメリカ	9.4%
2	Public Storage	リート	米ドル	アメリカ	4.7
3	Ventas Inc	リート	米ドル	アメリカ	4.3
4	HCP Inc	リート	米ドル	アメリカ	4.1
5	AvalonBay Communities Inc	リート	米ドル	アメリカ	3.3
6	Equity Residential	リート	米ドル	アメリカ	3.3
7	Prologis Inc	リート	米ドル	アメリカ	3.1
8	Vornado Realty Trust	リート	米ドル	アメリカ	3.1
9	Boston Properties Inc	リート	米ドル	アメリカ	2.9
10	Spirit Realty Capital Inc	リート	米ドル	アメリカ	2.7
組入銘柄数			46銘柄		

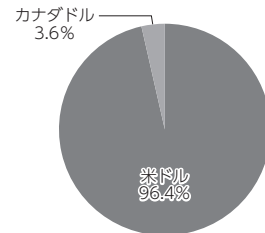
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注) 国(地域)および国別配分は、発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報は、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

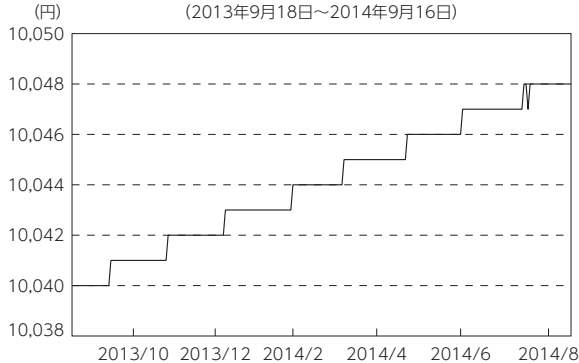
野村マネーマーケット マザーファンド

運用経過等に関する詳細な内容につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

【基準価額の推移】

【1万口当たりの費用明細】

(2013年9月18日～2014年9月16日)



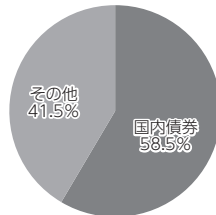
該当事項はございません。

【組入上位10銘柄】

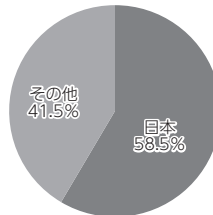
(2014年9月16日現在)

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 国庫債券 利付(2年)第323回	国債証券	円	日本	7.6%
2 国庫債券 利付(2年)第321回	国債証券	円	日本	6.1%
3 国庫債券 利付(2年)第327回	国債証券	円	日本	4.6%
4 国庫債券 利付(2年)第324回	国債証券	円	日本	4.3%
5 日本高速道路保有・債務返済機構承継 政府保証第337回	特殊債証券(除く金融債)	円	日本	4.0%
6 日本高速道路保有・債務返済機構承継 政府保証第343回	特殊債証券(除く金融債)	円	日本	3.1%
7 首都高速道路債券 政府保証第195回	特殊債証券(除く金融債)	円	日本	3.1%
8 商工債券 利付第721回い号	金融債券	円	日本	3.1%
9 中小企業債券 政府保証第182回	特殊債証券(除く金融債)	円	日本	3.1%
10 国庫債券 利付(2年)第325回	国債証券	円	日本	3.1%
組入銘柄数		20銘柄		

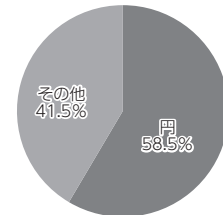
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注) 国(地域)および国別配分は、発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報は、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

○東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、株式会社東京証券取引所 (㈱東京証券取引所) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(株)東京証券取引所が有しています。なお、本商品は、(株)東京証券取引所により提供、保証又は販売されるものではなく、(株)東京証券取引所は、ファンドの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

○MSCI-KOKUSAI 指数 (配当込み、円ベース)

○MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI-KOKUSAI 指数 (配当込み、円ベース)、MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

○NOMURA-BPI 国債

NOMURA-BPI 国債の知的財産権は、野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、NOMURA-BPI 国債の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、NOMURA-BPI 国債を用いて行われる野村アセットマネジメント株式会社の事業活動、サービスに関し一切責任を負いません。

○シティ世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

「シティ世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)」は、Citigroup Index LLCが開発した日本を除く世界主要国の国債の総合投資収益を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスで、Citigroup Index LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利は、Citigroup Index LLCが有しています。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

「JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)」(ここでは「指数」とよびます) についてここに提供された情報は、指数のレベルも含め、但しそれに限定することなく、情報としてのみ使用されるものであり、金融商品の売買を勧誘、何らかの売買の公式なコンファメーション、或いは指数に関連する何らかの商品の価値や値段を決めるものでもありません。また、投資戦略や税金における会計アドバイスを法的に推奨するものでもありません。ここに含まれる市場価格、データ、その他の情報は確かなものと考えられますが、JPMorgan Chase & Co. 及びその子会社(以下、JPM) がその完全性や正確性を保証するものではありません。含まれる情報は通知なしに変更されることがあります。過去のパフォーマンスは将来のリターンを示唆するものではありません。本資料に含まれる発行体の金融商品について、JPMやその従業員がロング・ショート両方を含めてポジションを持って、売買を行ったり、またはマーケットメイクを行ったりすることがあり、また、発行体の引受入、プレースメント、エージェンシー、アドバイザー、または貸主になっている可能性もあります。

米国のJ.P. Morgan Securities LLC (ここでは「JPMSLLC」と呼びます) (「指数スポンサー」) は、指数に関する証券、金融商品または取引 (ここでは「プロダクト」と呼びます) についての援助、保障または販売促進を行いません。証券或いは金融商品全般、或いは特にプロダクトへの投資の推奨について、また金融市場における投資機会を指数に連動させる或いはそれを目的とする推奨の可否について、指数スポンサーは一切の表明または保証、或いは伝達または示唆を行なうものではありません。指数スポンサーはプロダクトについての管理、マーケティング、トレーディングに関する義務または法的責任を負いません。指数は信用できると考えられる情報によって算出されていますが、その完全性や正確性、また指数に付随する情報について保証するものではありません。指数は指数スポンサーが保有する財産であり、その財産権はすべて指数スポンサーに帰属します。

JPMSLLCはNASD, NYSE, SIPCの会員です。JPMorganはJP Morgan Chase Bank, NA, JPSI, J.P. Morgan Securities PLC., またはその関係会社が投資銀行業務を行う際に使用する名称です。

(出所：株式会社野村総合研究所、Citigroup Index LLC 他)

〈「野村北米REIT投信（通貨選択型）」（マネープールファンド（年2回決算型）を除く）の
お申し込み時の留意点〉

販売会社の営業日であってもお申し込みの受付ができない日（以下「申込不可日」といいます。）があります。

お申し込みの際には、これらの申込不可日に該当する日をご確認のうえ、お申し込みいただきますようよろしくお願いいたします。

(2015年3月16日現在)

年 月	ファンド名 円コース/豪ドルコース/ 南アフリカランドコース	ブラジルリアルコース	米ドルコース/ メキシコペソコース
2015年3月	－	－	－
4月	3	3、21	3
5月	25	1、25	25
6月	－	4	－
7月	3	3、9	3
8月	－	－	－
9月	7	7	7
10月	－	－	－
11月	11、26	2、11、20、26	11、26
12月	24、25	24、25	24、25

※2015年12月までに該当する「申込不可日」を現時点で認識しうる情報をもとに作成しておりますが、諸事情等により突然変更される場合があります。

したがって、お申し込みにあたってはその点についても十分ご留意下さい。また、諸事情等による申込不可日の変更は、販売会社に連絡いたしますので、お問い合わせ下さい。

なお、弊社ホームページ（<http://www.nomura-am.co.jp/>）にも掲載いたしております。